

卒業生調査(2024年度実施)

調査目的:卒業生を対象に、大学での学修が卒業認定・学位授与の方針に定められた資質・能力の修得に資するものであったか、学位プログラムを通じて身に付けた資質・能力が進学先や就業先でどのように役立っているかなどを明らかにし「学修成果・教育成果の把握・可視化」のデータとし、教学の改善に利用する。

□調査対象:横浜創英大学卒業生(2019～2022年度卒)

□調査方法:インターネットによるWEBアンケート

□調査期間:2024年6月1日～2024年6月23日

□調査内容:

Q1.卒業年度

Q2.卒業学科

Q3.性別

Q4.現在お住まいの都道府県

Q5.学生時代に取り組んだ度合いと学生時代の満足度度合い

Q6.学生時代の学修経験・成長実感

Q7.社会(職場)で必要とされている能力と大学時代の学修で身につけた能力

Q8.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミの意義

Q9.大学の印象

Q10.大学生活の満足度

Q11.大学推奨度

Q12.卒業後の就業状況と退職の理由

Q13.勤務業種

Q14.勤務職種

Q15.転職回数

Q16.職場での状況

Q17.大学への意見

Q18.在学生へのメッセージ

Q19.インセンティブの希望

□発送数:502件(看護学科:309人、幼児教育学科:193人)

不達50件のため、母数は452件(看護学科:273人、幼児教育学科:179人)

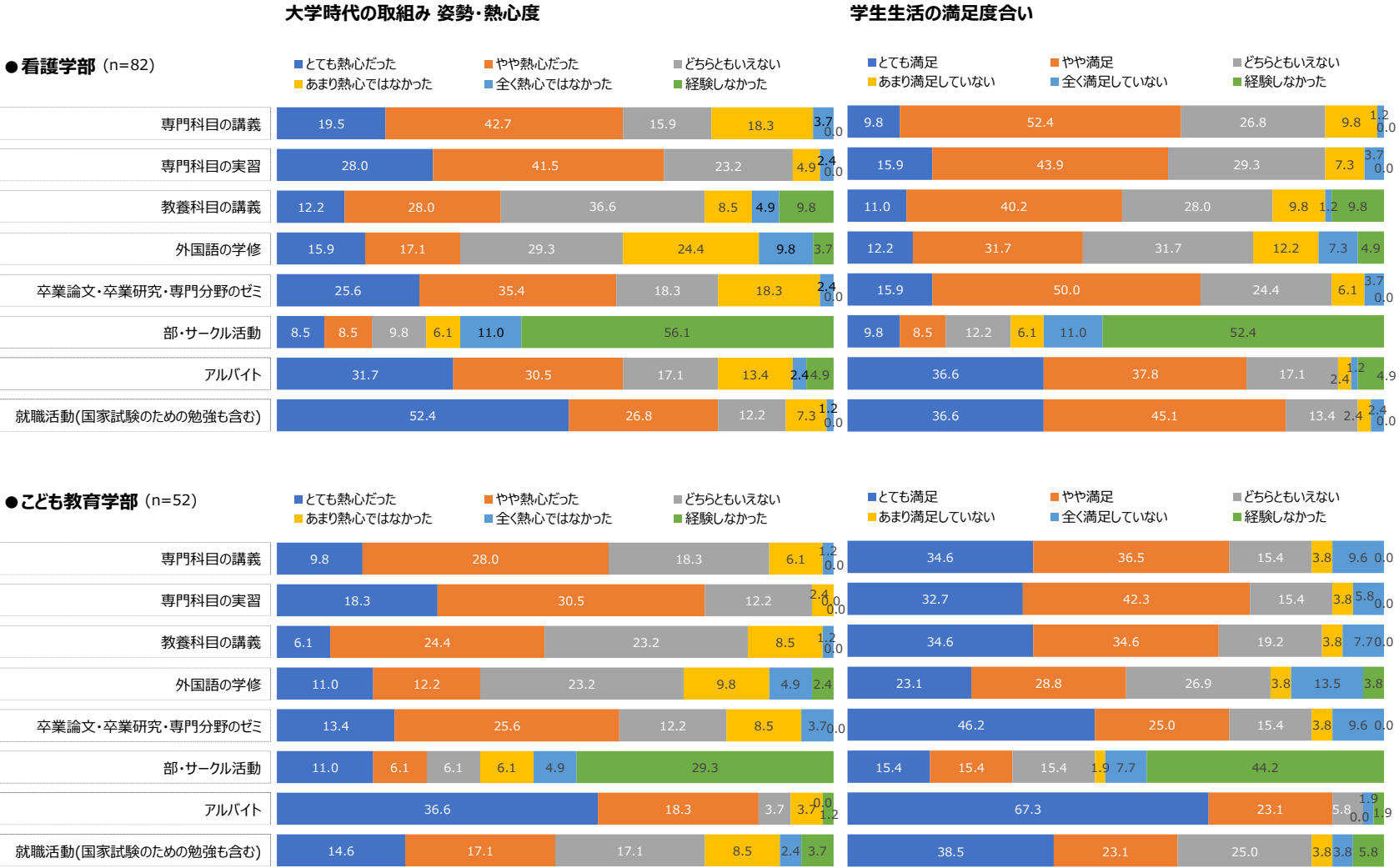
□集計対象数:134人

□回収率: 29.6%(看護学科:30.0%、幼児教育学科:29.1%)

□回答者属性別件数:看護学科82件・幼児教育学科52件

調査概要 卒業年度別	件数
2019年度(2020年3月卒)	30
2020年度(2021年3月卒)	32
2021年度(2022年3月卒)	40
2022年度(2023年3月卒)	32
合計	134

■大学時代の取組み 姿勢・熱心度／学生生活の満足度合い（看護学部・こども教育学部） 2024



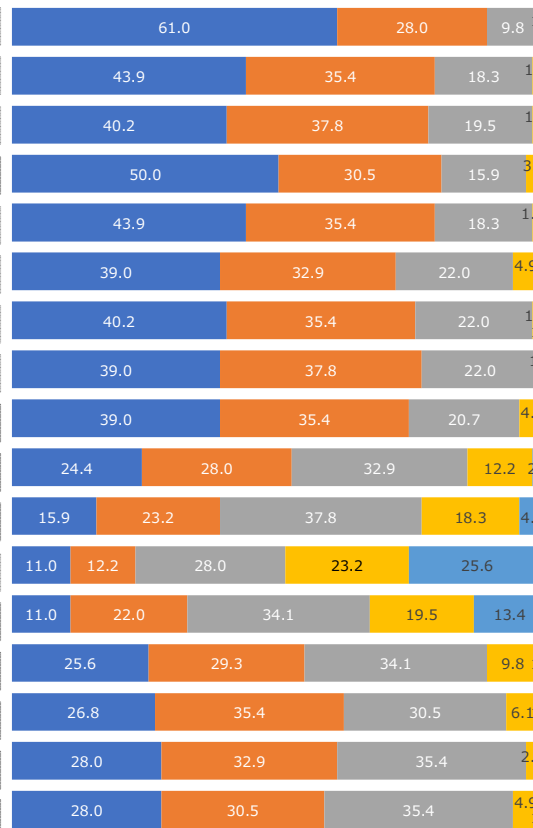
2024 卒業生調査

必要度／修得度(看護学部) 2024

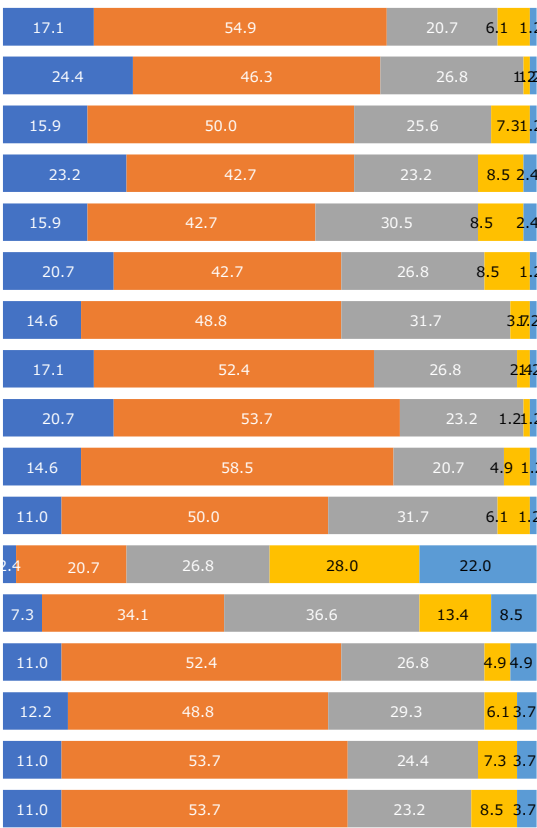
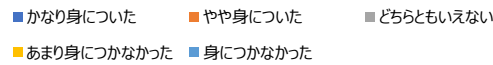
(n=82)

コンピテンシー	対人基礎力	親和力	他者との豊かな関係を築く能力
		協働力	目標に向けて協力的に仕事を進める能力
		統率力	場を読み、組織を動かす能力
	対自己基礎力	感情制御力	ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
		自信創出力	前向きな考え方、やる気を維持する能力
		行動持続力	主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
	対課題基礎力	課題発見力	様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
		計画立案力	課題解決のための適切な計画を立てる能力
		実践力	目標達成に向け、実践行動する能力
授業科目	専門知識	大学の専門科目で学んだ知識・技能	
	一般教養	大学の教養科目で学んだ知識・技能	
	外国語能力	外国語を使う能力	
	データサイエンス能力	数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	
リテラシー	情報収集力	課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	
	情報分析力	収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	
	課題発見力	現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	
	構想力	さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	

必要度：社会(職場)で必要とされている



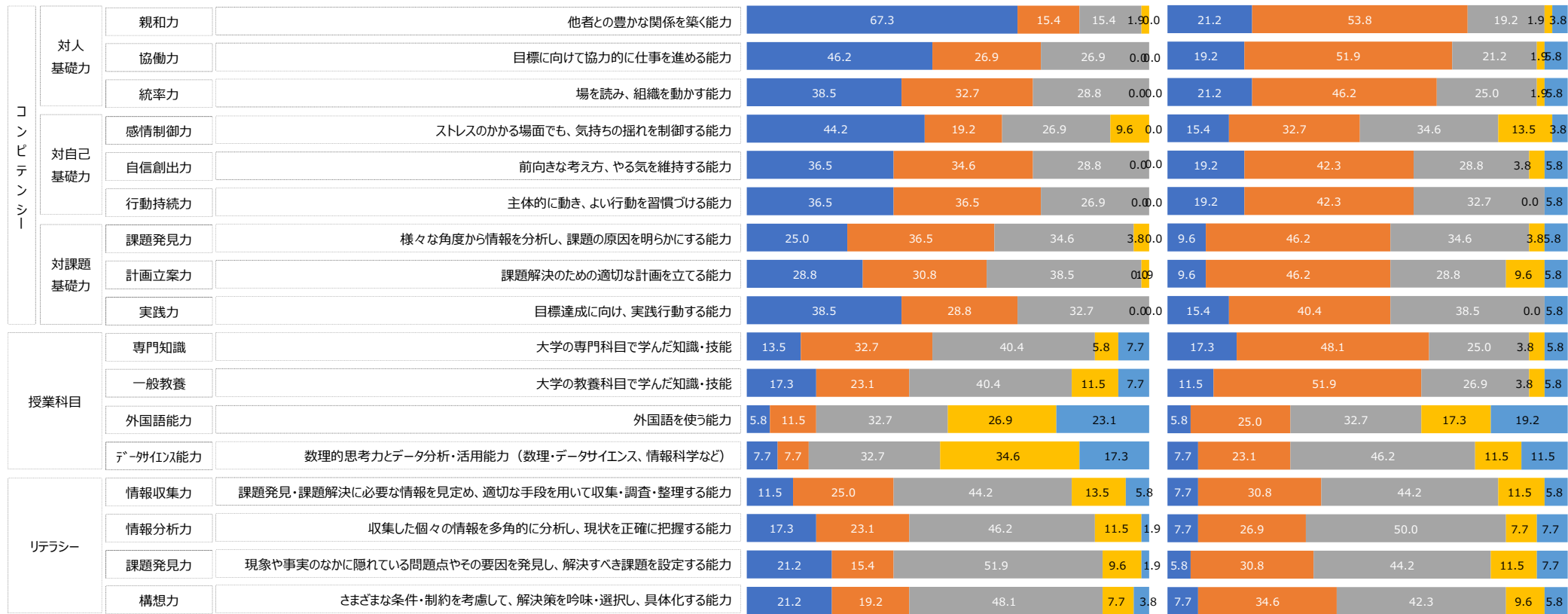
修得度：大学時代の学修によって身についた



2024 卒業生調査

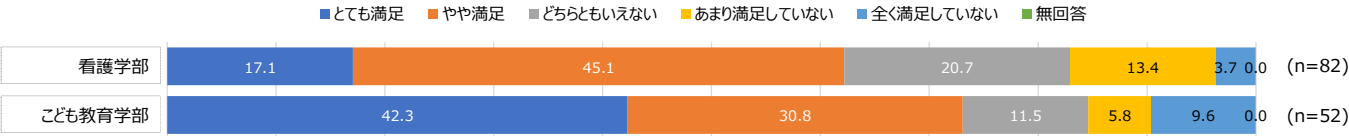
必要度／修得度(こども教育学部) 2024

(n=52)



■ 満足度／推奨度(看護学部・こども教育学部) 2024

● 大学生活に対する総合的な満足度



● 後輩へ本学を勧めたいか

